

第五回土木講習會雜感

※ 水 野 鎬

○ 第五回土木講習會は、康徳七年躍進滿洲の年頭を、飾るにふさわしい盛大豪華なものであつた。

語る人も、聞く者も、何れも技術奉公の精神に燃える建設の戦士、酷寒も何んのその、民族の殿堂。

協和會館が技術一色で塗りつぶされたのは、思ふだに愉快な限りである。

○ 劈頭坂田技監閣下の開會の挨拶に、印象深い一語があつた。即ち、堅忍不拔の精神、積極進取の氣象、及び堅き精神的團結の強張である。

誠に然り、これこそ、最も機宜に適した言葉と言ふべく、時局下大陸建設の任に當る我々の採るべき態度、持つべき精神の明示であり、指針でなくして、何んであらう。

○ 講習會のプログラムを手にした時、早速一通り、眼を通して見た、非常に期待をかけたものもあり、大して乗氣のしなかつたものもある。然し先づ先づ上々と云つた所だらう。

然しながら當局者に、望む所は、今一步講師の選擇、講演の内容如何に検討を加へ、より多く、充分なる時間を提供して、聴講者の期待に十二分に添ひ得るやう努力して頂きたい點である。然らざれば形式的は、いざ知らず、實質的に、効果百パーセントなりと自認し得る日は遠い將來の事かも知れぬ。

○ 専門的講演に於て、最も大切な點は、内容の充實であり、闡明であり、徹底である事は、申す迄もないが、是れがためには、時間の有無、聲量の如何が、必要條件の一部となる。

時間の問題は別として、今回の講演者中今少し、聲量があれば、あの豊富なる資料を、十分に活し。

表明し、徹底し得たであらうと、思はれた講演は二三に留らなかつた、

やはり、聲量の有無は講演者にとつて、必要缺くべからざる條件であるらしい。

○ 廣い會場に澤山の人が、ぎつしりつまると、其處に強く作用するものは、群衆心理である。

此の心理の利用如何は、往々にして、演説や、講演の良否如何を左右する事がある。

如何に熱心な、聴講者でも、一日中堅い話の連続では、午前と午後では、精神的にも、肉體的にも、かなりの變化が生ずるものである。之れは結局群衆心理の變化として、大きく現はれて來るはずである。

此の點を良く理解され、一寸手加減があつたら、一層引立つたであらうと思はれた講演もないではなかつた。

○ 聴講者の中には、勿論一部の者ではあるが、遺憾な點が多々見受けられた。甚だしきは、新京へ、来たのは、講習のためか、遊びのためか、判断に苦しむと云つた人々もあつた様だ、其の理由の如何を問はず、講演開始早々席を離れるといふ事は、全く慨歎に堪えない、此の點各自の猛省を切望する所以であるが、當局者自身も、積極的に、何等かの對策を構じ、來年からは、斯く自由奔放、不眞面目な態度を一掃すべきではなからうか、そうでもしなければ、立派な終了證書が大聲をあげて泣く事だらう。

○ 「心其處にあらざれば、聴けども、聴けず、見れども見えず」講習第×日の午後であつたか、自分の近くに居た、Y氏が盛んに、鼾をかいてゐた。そして暫らく、Y氏の居眠り状態を、眺めてゐたら、つい吹き出して來て、眠そうだつた、自分の眼が急に冴えて來た。

「眠い時には、眠つて居る人を見よ、そうすれば自分の眠氣は吹き飛んでしまふ」と或る人が言つたが面白い言葉であると思ふ、講演中に眠るのは、どうかと思ふが、居眠りする様な講演する人もどうかと思ふ。

○ 世は正に宣傳時代である。一にも宣傳、二にも宣傳、良き宣傳は確に關心を喚び、認識を深める點に於て非常なる効果を伴ふものである。

數多き講演の中には、程よき宣傳を含んで、甚だ有意義だと思はれたのもあつたが、中には形容の言葉が悪く、我田引水の色彩を濃厚にし、返つて講演の眞價を下げたのではないかと思はれたものもあつたやうだ。

○ 寒い部屋、冷い中食、色々な都合上萬止むを得なかつたとは云へ、何んとか對策は無かつたらうか。

お蔭で風邪を引いたと云はれたA氏もあれば、B君もゐる、何事も大げさに言ふH君は胃袋が氷つてしまつたといつてゐた。

聴講者の一部に甚だ面白からぬ態度があつたのも或は是等が原因の一部となつたかも知れぬ。

○ 二三の映畫が上映されたが、之れは非常に良い企だと思つてゐる。聴力の鈍つた所へ、急に視力が働く事となつて、其の効果たるや正に百パーセントである。映寫の數分間は、時と場合によつては講演の何時間にも勝る事がある。人間の知識は目か、耳の何れかより得るのであるが、心理學者は、之れに輕重をつけて、目の人、耳の人と呼ぶ、然し其の何れにも偏して、ならない事を今回強く感じた次第である。講演と映畫、此の兩者のコンバインこそ將來一層研究すべき問題ではなからうか。

○ 技術的關連を有する映畫は非常に親しみが持てるし、知つてゐる人でもスクリーンに現はれると一層愛着を感じるものである。

北支建設總署提供による映畫、就中、黄河の堤防決潰のため、なされたる應急工事の實寫は感銘おく能はざるものがあつた。我等の同胞が凡ゆる困苦缺乏に堪え、凡ゆる障害に打勝つて、斯くも勇敢に、奮闘されつゝある姿を見て、無上の力強さと非常なる喜びを感じた次第である。

かゝる映畫は機會ある毎に公開すると一層いゝだらうと思ふ。

- 講演會の齎す、有形、無形の効果といふものは、數と上げれば際限がない、唯懇親會の一夜をとつて、考へて見ても、確に想像以上のものがある。

吾れもなく、人もなし、あの和氣霽々たる空氣はたとへやうもなく、いゝものである。久し振りに會ひ、久し振りに語る、話の公私、話題の如何を問はず同じ皿、同じ鍋をついてゐると、講習中の疲れが一瞬にして、無くなつてしまふ、至る所、笑ひの爆發、金時の出現、口八丁、手八丁、自稱藝人が飛び出して來る、堅い講習、軟々懇談會、思ひ出すたびに懐かしい晩である。

- 前後四日間に亘る講習中好評を博した講演は澤山あつたが、其の中でも次の四氏の講演が特に好評があつた様に思ふ。

第一日「河川の計畫流量決定に就て」交通部照井科長の講演である。自他共に許す滿洲河川の權威、論旨の徹底と云ひ説明の仕方と云ひ、始めて斯る問題を聞く人にも、充分のみ込めた様だ、特に流速計を持參して、實物を以て詳細に説明された如く、抽象的ではなく、具體的であり、實際的であつたと言ふ所に、特徴があり、人氣があつた様に思ふ。

第二日「航空寫眞測量に就て」寫眞處片岡健次郎氏の講演である。寫眞屋さんでも單なる寫眞屋ではないと云ふ事を誰しも強く感じた事だらう。中々の雄辯家であり、彼氏獨特の藝辯を以て聴講者を烟にまき、最後に質問の時間を設けらる等一寸變つたいひ點があつた。航空寫眞が漸く世人の注目を引く様になつた昨今 氏の講演が期待されたのは當然で又結果よりして、充分期待に添ひ得たものと言へよう。

第三日「鐵筋コンクリート橋梁に於ける新しき傾向」交通部瀬戸技佐の講演である。短い時間ではあつたが研究心に富んだ氏の講演は確に一異彩を放つてゐた。一寸した些細な事の様であつて、而も非常にびんと來て印象深いといつた箇所が多々あつた。

此の點が氏の講演の一大特徴であつた。是れは結局勉強と研究の結果であらうと思ふが、講演全般より見ても傾聴すべき點が多かつた。

第四日「日本に於ける河水統制事業の現況」内務省水谷技師の講演である。餘り興味のある話ではなかつたが最後まで飽きずに聞く事が出來たのは何んといつても、氏の場慣れた悠揚迫らざる態度が然らしめた事だらう。此の點が特に秀でゐるといつて取上る點はなく、唯日本内地の河水統制事業の二三に付ての實例を主とした講演に過なかつたが、それでゐて終始一貫好感を以て聞く事が出來た、此處に氏の講演の生命があつたやうに思ふ。